

川畠 成道 ヴァイオリン

NARIMICHI KAWABATA



視覚障害を負った幼少期にヴァイオリンと出会い音楽の勉強を始める。桐朋学園大学卒業後、英国王立音楽院へ留学。1997年、同院をスペシャル・アーティスト・ステイタスの称号を授与され首席卒業。翌年、東京・サントリーホールにおいて小林研一郎指揮、日本フィルとの共演でデビュー。その後、英国と日本を拠点にソリストとして精力的な活動を展開、毎年数多くのリサイタルを行う。国内外の主要オーケストラとも多数共演。ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、スロヴェニア国立マリボール歌劇場管弦楽団、ボローニャ歌劇場室内合奏団などにソリストとして迎えられるいづれも高い評価を得ている他、欧州最高のオーケストラのひとつであるキエフ国立フィルハーモニー交響楽団の日本ツアーのソリストとして成功を収めるなど着実な歩みを進めている。CDは、ファースト・セコンドアルバムがそれぞれ20万枚の記録的大ヒットとなり大きな話題を集めて以来、2018年のデビュー20周年記念アルバム「J.S.BACH 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータBWV1001-1006」まで、15枚をリリース。尚「ザ・ベスト」と「クライスラーを弾く」、「無伴奏の世界」は、レコード芸術誌で特選盤に選ばれている。デビュー当初より音楽活動の傍ら、積極的に国内外でチャリティコンサートを行う。中学音楽鑑賞教材や高校英語・現代文教科書、高校入試問題やNHKラジオ高校講座「現代文」に映像や文章が使用される等、社会派アーティストとしても多方面に影響を与えている。文部科学省スペシャルサポート大使。日本弦楽指導者協会関東支部所属。

<川畠成道オフィシャルサイト <http://www.kawabatanarimichi.jp>>

佐藤 勝重 ピアノ

KATSUSHIGE SATO



桐朋女子高等学校音楽科(共学)を首席で卒業後渡仏。その後パリ国立高等音楽院を1等賞、パリ・エコール・ノルマル音楽院の高等演奏家課程を賞賛つき満場一致で卒業。これまでに福岡幸子、江戸弘子、G.フレミー、G.ムニエの各氏に師事。この間、全日本学生音楽コンクール全国大会優勝やSOFIA国際ピアノコンクール第1位受賞など、国内外のコンクールに入賞する傍ら数多くのコンサートに出演。また、2000年にはワルシャワで行われた第14回ショパン国際ピアノコンクールに日本代表として選拔され推薦出場を果たした。2012年にリリースされた初ソロCD「ノクチュルヌ」は、15人の作曲家によるノクターンを収録し、レコード芸術誌特選盤に選ばれ大きな反響を呼んだ。2016年にセコンドアルバム「オマージュ」をリリース。近年は室内楽にも力を入れており、日本を代表する弦、管楽器アーティストと全国各地の演奏会で共演し、これまで7枚の室内楽CDを録音している。また、音楽雑誌への執筆やセミナーでの講義、全日本学生音楽コンクールなどの審査員も務め、桐朋学園音楽大学、昭和音楽大学にて後進の指導にも力を入れている。

南 加奈子 フルート

KANAKO MINAMI



昭和音楽大学卒業後、下八川圭裕基金奨学生、ハイメスの奨学生として渡仏。
パリ・エコール・ノルマル音楽院、フランス国立オルネイ・スー・ボワ音楽院等にて研鑽を積む。
europeen de musique en picardie にて満場一致の1位。ufam 国際コンクール室内楽部門最高課程にて1位。
ハイメスコンクールにて最優秀賞(1位)等、国内外のコンクールにおいて上位入賞する。
旭川市新人奨励賞受賞。旭川ななかまど文化賞受賞。
札幌交響楽団や世界的フルーティスト、工藤重典氏パトリック・ガロワと共演するなど数多くの演奏会に出演。
文化庁/日本演奏連盟リサイタルシリーズにて札幌コンサートホールkitaraでリサイタルを行う。
北海道文化財団アンサンブルアーティスト、MINAMI 音楽アカデミー代表。

南 加奈子を中心に現役音大生・全日本学生音楽コンクール北海道大会 北海道毎日学生音楽コンクール受賞者によるフルートアンサンブル



永山 陽葉里



松田 一愛



吉田 萌香



佐藤 奏愛



峠 幸希



山岸 千音



山腰 麻那